



第 29 号
60.8.10

会 報
やまぐち

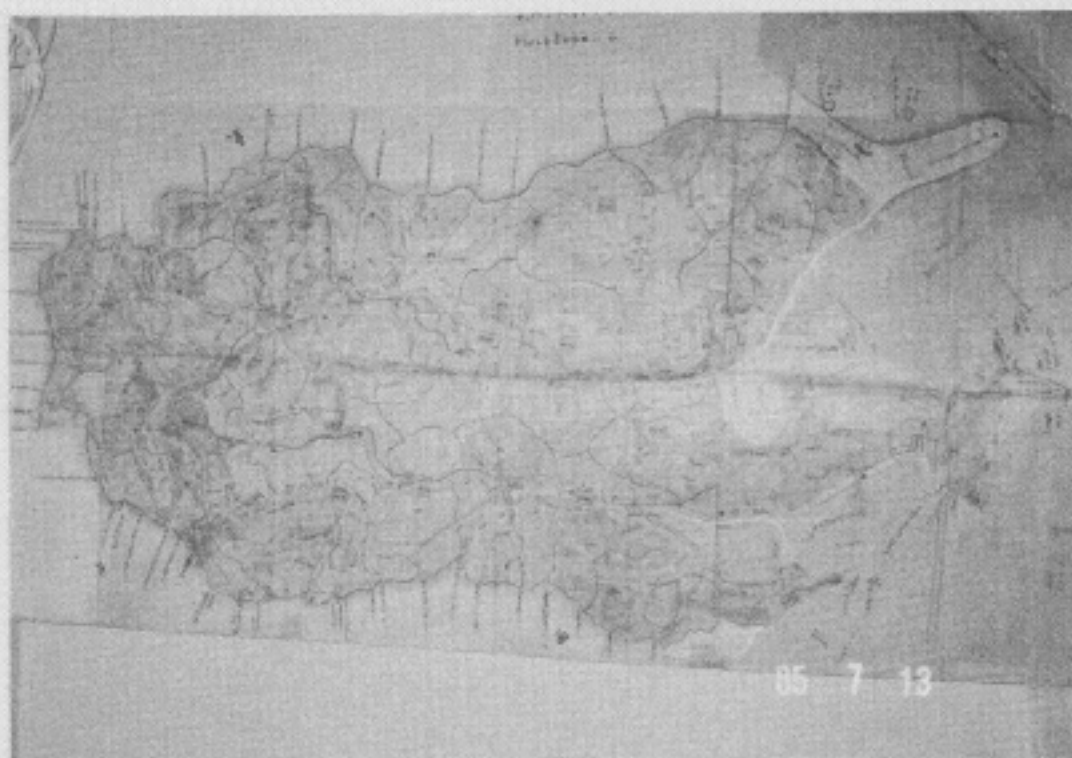
発行所
山口市駅通り2丁目9番15号
山口県土地家屋調査士会
TEL 山口 225975

発行者
会長 三好敏夫

印刷所
山口市旭通り1丁目1の6
桜プリント企業組合
TEL 山口 221712

目 次

・表彰おめでとうございます	2
・第 38 回定例総会開催	3
・本部役員決まる	3
・再び副会長の職を拝命して	副会長 新本清人 5
・副会長就任の御あいさつ	〃 乗川良介 5
・ごあいさつ	総務部長 小倉六治 6
・再度就任にあたって	経理 〃 高杉勇助 6
・企画部長を拝命して	企画 〃 溝口保二 7
・厚生部長就任のごあいさつ	厚生 〃 小林章 7
・支部長会議長に就任して	支部長会議長 細野毅 7
・投稿「西歴生まれの年齢計算について」	「匿名は無理かな」さん 8
・法務局からのお知らせ	9
・事務局だより	10



厚狭郡船木宰判絵図

表彰おめでとうございます



三好 敏夫 先生
(萩支部)

法務大臣表彰に輝く

三好会長は、多年にわたり業務に精励されるところに役職にも委
うされ、業界の発展にご尽力されたご功績により、各賞ある受賞を
されました。ここに会員一同心よりお慶び申し上げます。

三十五周年特別表彰受賞

法制定三十五周年を記念いたしまして次の方々を日調連会長より
めでたく表彰を受けられました。おめでとうございます。



新本 清人 先生



定田 美代子 職員



川内 倉市 先生



安田 巖 先生



小林 章 先生



西山 雅敏 先生

第三十八回定例総会を開催

第38回定例総会が五月十九日(日)午前十時半から新府市の防府天満宮「豊樂殿」において、多くの来賓の方々の臨席を賜わりまして開催されました。

半實況評のあと長谷野邦之山口地方佐倉前局長より表彰を受けられました。

役員功勞者として

- 刑田博助(下関支部)
- 磯田豊彦(「」)
- 平山正昭(宇部支部)

永年功勞者

- 田村 英(岩田支部)
- 下村くす(下関支部)

このあと引き続き三野敏夫会長より次の方々が永年の役員歴に對しまして表彰を受けられました。

- 水久藤博(宇部支部)
- 福原治重(防府支部)
- 兼清藤寿(宇部支部)

今総会は役員改選の年でありまして、三野敏夫会長は再選されました。三名の副会長の内、新らしく柴川

良介(岩田支部)が再任され、新本橋入副会長、西山豊敬副会長は再選されました。

新しく選ばれました柴川副会長には会の運営に新しい活力を吹き込んでいただけるものと期待が持たれているところです。



本部役員決まる

本部定例総会後、各支部におきまして次のとおり本部役員が決定いたしました。

理 事

- | | |
|------|-------|
| 岩田支部 | 高杉 義助 |
| 岩田支部 | 相山 武彦 |
| 山口支部 | 三野 正 |
| 山口支部 | 前地 晴雄 |
| 山口支部 | 小倉 六治 |
| 山口支部 | 小橋 一郎 |
| 山口支部 | 石川 健 |

横 紀 委 員

- | | |
|------|--------|
| 岩田支部 | 井坂 浩士夫 |
| 岩田支部 | 久野 勉 |
| 山口支部 | 丸六 高定 |
| 山口支部 | 加田 達彦 |
| 山口支部 | 本田 繁 |
| 山口支部 | 熊井 誠一 |
| 山口支部 | 真野 成雄 |
| 宇部支部 | 藤原 治重 |
| 宇部支部 | 小林 章 |
| 宇部支部 | 竹内 重信 |
| 宇部支部 | 高野 一天 |
| 宇部支部 | 瀬口 龍二 |
| 宇部支部 | 溝口 保二 |
| 宇部支部 | 兼野 栄介 |



局長表彰を受ける前田会員

監事
山口文雄
岩田一夫
下関一夫
なお文部長も次のとおり選任されました。

比良正和
比良正和
比良正和
比良正和
比良正和
比良正和
比良正和
比良正和
比良正和
比良正和



平山会員



藤部会員

第 1 回理事会合同役員会開催される

去る 7 月 6 日(土) 山口県野田栄吉亭におきまして理事会、今回役員会が開催され、部会等の編成が次のとおり決定いたしました。

部 名	輪 番 部	学 生 部	企 業 部	公 共 事 業 部	輪 理 部	広 報 部
担当副会長	西山 隆 敏		幸 川 良 介		新 本 浩 人	
担 当 理 事 ◎印は部長	◎小宮六治 高野一夫	◎小林 卓 石田 豊	◎鹿口良二 三浦 任 福原治彦	◎竹内康信 小嶋慎一郎	◎高杉勇助 黒倉栄介	◎宮崎晴雄 澤山武雄 鹿口良二
文部会長 ・ 副会長 綱紀委員会 委員長 ・ 副委員長 代表理事 会館運営委員 広報委員会 本部役員	細野 勉(徳山) 比良正和(岩国) 久野 謙(徳山) 井祝誠士夫(毛郡) 岡村正一(山口) 小宮六治(山口)、小嶋慎一郎(山口) 新本浩人(岩国)、幸川良介(徳山)、竹内康信(萩)、黒倉栄介(下関)、鹿口良二(宇部)					

再び副会長の 職を拝命して

副会長 新 本 清 人

過ぐる春の定時総会におきまして、三好会長の補佐役の一人として、再び副会長の職を汚させて、頂くと云う喜びに相成りました。

会員の若い層の力強さとその息吹きと、老練なオールド調査士先生方の御意見を頂戴しながら、あらゆる面におけるよき調整役として、又、新しい二十一世紀へ向けての、調査士制度発展のためにも、精力ながら御賞語が出来ることを喜び、牛歩なれども力強く、地を一步一步踏みしめて参りたいと考えます。今年は公嘱も協会設立の年であり、又一方、受注拡大については一般事件、公嘱事件共に破格な努力が要求されて居ります。会長の意図を体し、役員は一致して目的達成に一路奮進あるのみと力んで居ります。皆様方の絶大ななる支援を希い私の挨拶といたします。

副会長就任の ごあいさつ

副会長 兼 川 良 介



不肖私は、今年五月十九日、防府大宮宮野集殿で開催された、山口県土地家屋調査士会の第三八

回定例総会に於いて、計らずも副会長に選任され、又去る七月六日開催の新役員合同会議の席において、企画、公共事業部担当副会長としての役割を命ぜられました。

若輩者で且つ一年生副会長の私にとって、は重責であり、任務の遂行に重圧を感じ危人ですが、幸い企画部は、二期目のベテラン漢口部長、公共事業部は、逝去企画部部長、支部長、広瀬部長等々数々の役員を歴任され特に、公共嘱託登記表協会の本課委員を私と共に後期に引き継ぎされた。竹内部長が、それぞれ就任され、その上企画、公共企画担当理事も、若さと実行力のある優秀な方々の配属がなされ心強く感じ

ると共に、業務の遂行については部長を中心に立派に完遂して戴けるものと確信しているものであります。

私も、この最良の理事の皆様と共に、副会長をお引受けした以上は、持てる精力を存分に傾注し、山口会空想のため、微力では御座居りますが、任期一杯頑張る決意でありますので、会員の皆様のご段の御指導と御支援をお願い致します。

ところで、今年の最大の事業は何と言っても、登録事務の移譲と公共嘱託登記協会の設立であろうかと存じます。

公嘱法人協会の設立に関する日調連の説明会が、去る八月五日、六日の両日東京で開催され、いよいよスタートする訳であります。この民法第三四条法人の社員は土地家屋調査士会の会員であること、単位会の会員の過半数の社員をして、単位会毎に設立の認可をなすものとなっております。詳細については、今だ不明であります。去る八月五日、六日の説明会において、政令規則等も含め報告がなされ、ペールを脱ぎ、いよいよ単位会で、設立の準備となるものであります。前述の通り出来る限り多くの会員の皆様は、社員登録をお願い致します。目途であった公嘱登記を一日も早く解

消し、表示に関する登記の円滑な実施と、不動産に係る国民の権利の明確化に一段と寄与する事が必要な時期に來たことを皆様と認識して戴き、延いては会員各位の業務の安定を増収に結び付け事を信じているものであります。

このためにも、立派な協会を設立し運営しなくてはならないと思ひますし、私もこの基礎作りだけに傾注したいと存じます。

調査士協会の場合は現在公職委員会で、行っている嘱託登記事件の処理のみにとどまらず、前述の租厩解消のためには、調査、測量（用地買収等に伴う用地測量等）をも一任処理することにより、この目的が達成されるものであり、法改正の中で明記された一土地家屋調査士法第十七条の六第一項同法第十七条の七第一項一ものであります。が、現在まで、これ等の調査、測量の業務を長年に亘り、測量業者が受注処理していた経緯から、たやすく我が協会には、法が整備されたからと言って、発注されるとは思いませんが、法務当局並びに日調連の指導の基、一日も早く協会の目的に即い且つ国民の権利の明確化に寄与出来る様、早期受注体制を樹立し、円滑な表示登記の実現に向う様、方向付を達成したいものと思う

ものであります。

このためにも会員皆様が一玉となって、新たな業務の開拓に邁進して戴き、我々担当役員を叱咤激励し一段と、お力添下さいまして、所期の目的を達成されるべく御指導下さいます様慮ねてお願申上げ、就任の御挨拶と致します。

ごあいさつ

総務部長 小倉 六 治

記録的な長期の降雨も漸く終り厳しい夏の日射に山野の緑も日蔭に濃さを増して参りました。会員諸兄には益々御元気で眼貴に御精進の御同慶に存じます。

情、過日の合同役員会で因らざるも総務部の担当を仰せつかりました。今期は御案内のとおり自主登録への切換え作業、公職法人化に伴う協会の態勢整備、調査士法制定三五周年記念行事の企画等、執行部に課された業務の中にも初めてのケースのものもあって非ずの私にとって何かと杞憂の種ですが何卒会員各位の御指導御協力を賜ります様慮上を借りて御挨拶申し上げます。

再度就任にあたって

経理部長 高 杉 勇 助



去る七月六日理事会で三期目になる経理部長に選任されました。四年前自ら求めて引き受けた経理部ですが

ら反論の余地はなく承諾したわけです。今後二年間私なりに努力して参りたいと決心しておりますのでご協力の程特にお願致します。

本年の経理部は予算からみて、大変な年ではないかと思っております。

事業費については今年は三十五周年の記念行事があります。研修費に若干の予算を計上したものの足りませうか。また、理事会に提出された福祉優遇費については、若齢会員の事件減少に伴ない該当者が多くすでに赤字になることは明白であり、予備費三六七、一六七円が何か心もとなく思われて参りました。毎年の総会で事件数の減少を報告している私が右の件について予算

措置を考えなかったことが誤りであったようにです。

今後の対応としては必要な事業費は別として、管理費及び会議費等を予算内にとどめることが先決と思ひ、支出面について各部長さんにお願ひしたところですが、予算執行について特に注意して行きたいと思つております。

以上が経理部長としての感想ですが、終りに当たり、私の今期の目標は監査規定の整備にあります。

昨年度会計規定を作成しましたので、その補完として、是非とも山口会に見合う監査規定を完成させた上、次期経理部長に引継ぎをしたいと思つております。

以上就任に当たつての感想、抱負いたします。

企画部長を

拜命して

企画部長 溝口保二

前期に引継ぎ、企画部長を命ぜられ、又忙しい二年間を過ごす事になりました。

前回の会報でいたらなかった自分のおこたわりを述べたばかりでございますが、皆様方に行き届かなかつた事を教訓に新たな気持ちで今一度頑張る所存でございますので、会員一同の温かい御理解と御支援を宜しくお願い申し上げます。

今年度の行事としまして調査士法制定三十五周年記念行事とあわせ本部研修として講演会を用意致して居ります。又時間が許せば報酬額のスライドアップ(五多)による説明も考えて居ります。会員の皆様には報酬額が七月一日より改正されたにもかかわらず、明細書の印刷が遅れて居り大変御迷惑をおかけ致していると思ひますが、現在印刷中のため、今しばらくお待ち願ひいたします。

今後共、会員皆様方の御協力を得まして

無事任期満了まで勤めたいと思ひますので宜しく御指導の程お願ひ申し上げます。

厚生部長就任の

ごあいさつ

厚生部長 小林 章

私は過去十年間総務、厚生、経理部を担当し今日に至つておりますが、このたび細野厚生部長の後任とし厚生部を担当致すことになりました。

会員の皆様の福利厚生の増進を目標に、浅学非才ではありますが、皆様の御期待に副うべく努力を致したいと存じますので、有意な御意見と御協力をお願い致します。

支部長会議長に

就任して

支部長会議長徳山支部長

細野 毅

会報やまぐちで、本部役員退任の挨拶を



申し述べましたが、新年度の役員選出で、徳山支部長のバトンを引き継ぐ事情になり、是に運動して、支部長会議長の重責を兼任することに至りました。誠に意にしない、駄馬に鞭打つ思いであります。不慣れなポストであります。初心に還り先輩の足跡を習い、周囲のお力添えで働いていきたいと思ひます。

憶えば、山口司調会館建設委員として、建築プランを担当し、その後理事席に居座った開拓期の十二年間、靴を脱いで急な階段を出入りした間借事務所を回顧すれば、隔世の観であります。

今日の権威あるものに培われた、山口県本部、七支部会の組織会員の価値感を改めて自覚したいと思ひます。会員層も明治、大正組の高齡化現象、昭和年代も、五〇パーセントを超えましたが、仕事受注量の減少等、それぞれに悩みも内蔵してあります。各地域の実状、個々の異なるモチーフを活して団結の効率化を進めてめきたい。

日常業務の会員、連繫を密に、法務局関係の交流を計りながら、ニュースタッフで式ケ年を頑張る所在でございます。

宜敷く御協力をお願い申し上げて、御挨拶とします。

投稿

西歴生れの年齢計算について

新本 清人

御主 年齢は幾つだノ

貴方何歳になられます。

サテ、何んと答えようかな。

幾つ位にみえますか。

割合御若く見えるのではないかしら、いやあ丁度いい御年頃では。

と尋ねる人。

その場所、雰囲気等により、又問う人の男女の別によって答え方も色々差があるだろう。

サテ、この場合何んと答えようかマジでなければいかん。そうだ西歴一九二二年生れですと答えたら、質問者の反応も又いろいろである。

① ノッケから、それは西歴ですか。これでは全くチンプンカンブンと言う人。

② 今年は一九八五年だから一九二二年を差し引くと何歳になると算術で来る人、でも大正や昭和の年号はチンプンカンブンとなる。

③ 頭からこんな答え方は人を小馬鹿にしたものだと言う人もあるかも知れない。

④ 時として先輩の質問者には、ヒントとして、これでも軍人恩給を貰っているのですよ。

と言えば、ハア！大分年老いた奴だなと感じる人もあるだろう。この様な場合、その質問者も可成り年輩者であるか又は戦中戦後の生活、兵役等に何んらかの係わり合いのある人が多い。

又、被質問者も同じく、かなり御年寄りのショボクレ男を想像されるに違いない。

サテ、本論に入ろう。西歴一九二二年は大正一一年であり、この年生れの人は六三歳である。一九〇〇年は明治三三年で、この生れの人は八五歳、終戦の年即ち昭和二〇年は一九四五年であり四〇歳となる。と書けば如何にもよく知って居る様で、又その答も間違っていない筈であるが、尤も生年月日が来ない日付に於ける年齢は1歳を差し引くのは当然の考え方である。廻りくどい話ではあるが、御主は西歴何年生れかを今少し説明してみよう。

昭和生れの人はその年に二五を加える、大正生れの人は一一を加えると西歴年号の下二桁が解る、貴方は昭和何年生れと尋ね

山口地方法務局からのお知らせ

来る10月1日付けをもって当局防府出張所は支局に昇格することとなり、同行で取り扱う業務は下記のとおりとなりますのでお知らせします。

なお、防府支局の所在地は、現防府出張所の所在地と同様下図見取図のとおりです。

記

1. 登記業務

従前どおり変更はありません。(管轄区域、防府市・佐波郡)。

2. 戸籍業務

防府市及び佐波郡徳地町の戸籍事務の監督
 なお、防府市及び佐波郡徳地町の戸籍届書等は、当分の間次のとおり保管されますので、戸籍届書の記載事項証明の必要な方は、届出の年月日により、それぞれの局に請求して下さい。

- ① 山口地方法務局 昭和59年以前の届書
- ② 同 防府支局 昭和60年以後の届書

3. 供託業務

弁済供託(地代・家賃・その他の弁済)で、債務の履行地(支払場所)が防府市内になっているものについては防府支局に供託することになりますが、その他の供託については従前どおり最寄りの供託所に供託することができます。

4. 人権擁護業務

防府市及び佐波郡徳地町における人権侵犯事件や法律相談等の人権擁護に関する業務を取り扱うこととなります。

なお、同市・町の人権擁護委員で構成される防府人権擁護委員協議会も同時に発足します。

※ 不明な点については、山口地方法務局(☎0839-22-2295)におたずね下さい。



た場合。何年生れです、そこで直に西歴何年生れですね。一二支の干支は何年でしょ

と答えれば、一応誰もが納得してくれら

だろう。明治生れについては、少し算出が

と宣う。 してどんな風にだ。

それがのオ、この間も夜中のこと、隣に

居た女が、この様なことを言いつつたワイ。

その困ったと言うのは何か、早よう言え。

して、その訳はこのようなものなのだ。

アンタどうしたのママ、さっきキレイに

手入れして、そちらに向けて寝かせて上げ

たのに、又来ているがどう?

と抜かしおり、お負けにこうも言いつつた。

いい年をして程々にしなさいよ。と言わ

れて僕は

ノオ、ヘエエ・・・そうだったか。

これ程迄物忘れがひどうなつたかと、甚だ

なげいているところなんだよと言う。全く

驚いた。

この様な事について物忘れのひどい男は

余り可愛気のない奴、年老いたとは言うて

も、余り気の毒にも思えない。先輩達では

あるまいか。然し、いいこと全く良いこと

だと思ふ。

年寄りには、懇に大切にしようよ。

誰もが皆んな、何れは年寄りになるのだ

から。

その2

御主 何時も年とった、年を拾うたと口

と尋ねると、彼曰く

と抜かしおり、お負けにこうも言いつつた。

事務局だより

会務報告

四月 一日 (月)	発示登記の日・無料相談所開設	県下一五会場
一三日 (土)	監査会	於会館
二〇日 (土)	理事・支部長会	〃
二四日 (水)	法・司・調三者協議会	〃
五月 一日 (土)	山口・防府支部総会	〃
一四日 (火)	県用地課訪問	新本・西山副会長乗川部長 於防府市
一八日 (土)	総会打合せ	於防府天満宮
一九日 (日)	定時総会	西山・乗川副会長 於萩市
二四日 (金)	県用地課訪問	於広島市
六月 一日 (土)	萩支部総会	新本・西山・乗川副会長 新本副会長出席
四日 (火)	中B会長会	会長出席
五日 (水)	県用地課訪問	西山副会長出席
八日 (土)	岩国支部総会	
〃	徳山支部総会	
〃	宇部支部総会	
一三日 (木)	日調連総会	於伊東市
一四日 (金)		
一五日 (土)	下関支部総会	会長出席
二八日 (金)	法・司・調三者協議会	於会館

編集雑記

※新しく部会が結成されました、会員の皆様方もお気付きのこととおもいますが、広報部員が増員されております。

※今まで二人の部員であったものが三人になったからといって、特別変わるものではないようにおもいますが、五割増しの人員増(調査士ですから、すぐ計算をしてみます)。となっています。

※やはり二人が三人になったということは、今日の広報のおかれている立場がいかに重要かつ必要であるかと認識し、広報部員一同一致団結のもとに二年間頑張るつもりですので、会員の皆様方のご協力をお願いいたします。

※「広報は広報部がやる仕事なのだ。広報部だけが活動していれば良い」というのではなく、会員全員が協力をして活動した結果の広報が一番良いのではないのでしょうか。※新広報部は、大きな課題を引きついております。

それは十月一日の山口会が全国に先がけて制定しました「境界確定の日」です。年々失われていく「境界標」の重要性を住民の皆さんに呼びかけて下さい。

七月 六日(土)

理事会他合同役員会

於山口市菜香亭

一八日(木)

法務局・県用地課との協議会

於会館

二〇日(土)

総務・厚生部会

〃

二八日(土)

広報部会

〃

三〇日(火)

全国企画担当者会議

於東京都

三一日(水)

行事予定

八月 五日(月)

全国公共事業担当者会議

於東京都

六日(火)

企画部会

於会館

八日(木)

企画委員会

〃

二〇日(火)

中B会長会・監査会

於岡山市

二一日(水)

囲碁大会

於会館

九月 一六日(月)

本部主催研修会

証紙等点検調査

於岩園市

一〇月 六日(日)

ソフトボール大会

於岡山市

中旬

中B総会

於防府市

一二月 一七日(日)

史跡探訪会

於防府市

《表紙の説明》

この写真は、厚狭郡船木宰判が保管していた古地図で、作成されたのは、江戸後期と思われます。

現在、山口県文書館に保管されています。この古地図の村名が現在、土地登記簿の「大字」名及び「字」名の基礎になっています。

各村と村の位置関係は、小野田市の本山、ナワジガハナ、宇部市の岬の三地点からの距離が記入してあり、三角測量的な要素も見られます。

十月一日は
「境界確定の日」
です

会員異動状況

一、入脱会状況

支部	氏名	異動年月日	入脱会
防府	林 俊男	六〇・四・二	入 会
字部	高杉 千河生	六〇・五・四	" "
"	河村 清	六〇・五・二二	" "
防府	阿部 次男	六〇・七・三	" "
岩国	松江 利夫	六〇・四・二二	脱 会
下関	無津呂 哲朗	六〇・六・一四	" "
"	近藤 正美	六〇・七・三	廃 業

入脱会

事 務 所

防府市車塚町八番一八号

字部市松山町五丁目二番九号

" 恩田町二丁目八一六

防府市駅南町七番三〇号

(福岡会移転登録)

二、事務所変更他

支部	氏名	異動年月日
下関	米原 茂樹	五五・七・二二
山口	渡辺 満洲生	六〇・三・三〇
防府	堀田 盛登	六〇・六・八
"	藤本 巖	六〇・七・一二
山口	青木 正治	六〇・七・二四

異動年月日

異動事由

備 考

住所変更

事務所変更

下関市大字富任四七四番地の六

山口市駅通り二丁目三番一九号

防府市多々良一丁目一番三九号

佐波郡徳地町大字堀一四七一番地三

山口市大字大内御堀一一六二番地